

三島木経済通信

7月30日

発行所
株式会社FPリサーチパートナーズ
〒213-0001
川崎市高津区溝口3-7-21
044-814-3553
協賛
溝の口夜大学
電子版アドレス
fp-research.jp/keizai/0730

資産を「守る」「育てる」
「引き継ぐ」

アセットコンサルティング
プライベートバンクservice
詳しくはHPにて

Tel: 044-814-3553
www.fp-research.jp



マネー 外貨預金一層手軽に 円安期待も

円の預金金利が殆どない中、外貨預金の人気が高まっている。提供する銀行側もコストを引き下げ利用者のニーズに対応する形だ。外貨預金は日本円を外国通貨に替え、その通貨の金利を受け取る事が出来る為、高金利通貨の利息や、今後値上がりしそうな通貨などを買うメリットがある。逆に購入した通貨が値下がりする場合は損失を被ることになるのである程度「長期的に」投資できる場合に行うと良いだろう。ネット銀行などの参入により通貨を両替する手数料が相対的に下がっているため、流通量が多い米ドルは100万円でも千円程度で両替できる銀行もある。都市銀行も以前までは片道2円程度の手数料が掛かり往復で4円

■米ドルの為替手数料(1ドル101.80円として試算)

	1ドル当たり	100万円当たりの為替手数料
住信SBI	9銭	955円
ソニー銀行	15銭	1,591円
楽天銀行	25銭	2,651円
都市銀行	1円	10,609円

ワンコインからお申し込みできる
500円から積み立て金額を指定できますので、無理なく手軽に始められます。

積み立て日を自由に選択できる
毎月、毎週、毎月(分のマイニング)など
※土曜日、日曜日は「積み立て済」

Point! ネットバンクならではの好金利でおトクに外貨預金を楽しもう!

選べる9通貨で充実の外貨預金を!

※外貨預金の手数料や選択通貨はネット証券メインで増えている。

積立買付や現地利用も

ソニー銀行や楽天銀行では外貨の買付を毎月自動的に行う「積立買付」サービスを提供している。楽天は月3,000円からだが、ソニーは500円から可能であり、為替手数料も安価。また同社のメリットは貯めた外貨を現地で直接使うことも出来るため、旅行準備などを備える30歳〜40歳代に大きな支持を得ている。分散投資の基本は株式や債券、不動産などのアセットクラスの分散と考えられがちだが、「通貨変動に備える「通貨分散」も投資においては非常に重要である。為替差益は20万円を超えると確定申告が必要となるのでその点には注意をしたい。

程度のコストであったが、以前よりは安価になっている。外貨を買う背景には「円安」予測があり日本よりも海外の利上げの方が早いと考えられている。中でも人気の主力は米ドルだ。金利自体は普通預金で0.05%であり魅力は少ないが米ドルの上昇という期待が大きい。また、豪ドルやカナダドルもある程度の安定資産として買われている。

投資

TOPIX100銘柄「銭」単位に

■みずほFGの板画面

8411 みずほ 201.2 → 10:23 前終: 200.6
+0.6 +0.30% 出来高: 71888300

クォート	気配	歩み	チャート	ニュース	信用
売注	売数量	値段	買数量	買注	
	398100	201.6	成行		
	1010300	201.5			
	637700	201.4			
	761200	201.3			
	293900	201.2			
		201.1	1017000		
		201.0	800300		
		200.9	2157600		
		200.8	237800		
		200.7	584100		

7月22日より取引画面が変わっている。株価が小さい銘柄程、今回の「銭」単位の売買で意味が出ている。

日計りを行うトレードの場合は、逆に良くない場面もあり市場が混乱するか警戒されていたが大きな混乱はなかった。

TOPIXは東証一部全体の指数だが、その中で時価総額など流動性の高い銘柄で構成されるTOPIX100の株式について円単位から「銭単位」に変更された。上図はみずほFGの株取引の板と呼ばれるものだが小数点(銭)取引に変更されている。以前までは201円なら買うが202円では買えないと考える時売買が大きく成立しにくいのが、制度導入により一層の流動性アップ、商いの増加を見込んでいます。我々にとってもメリットである。

年金 年金相談の窓口は木・金曜がお得

月曜10時〜15時が一番混雑

年金の相談窓口は皆様がお住いの市区町村を管轄する年金事務所で行うことができる。人員削減もあり混雑していることも多い為、相談に行く際はリアルタイムで混雑状況を確認できる日本年金機構のHPで確認すると良い。

各年金事務所の概ねの待ち時間をみる事が出来る。また週明けの月曜日は毎週比較的混雑している。木曜・金曜は比較的空いていることが多い為、ゆっくりと相談したい時は曜日をずらすことも一工夫だろう。

8月のお客様相談窓口の混雑が予想されます。
*8月は休日明けの混雑が予想されます。

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23

日本年金機構
高津年金事務所

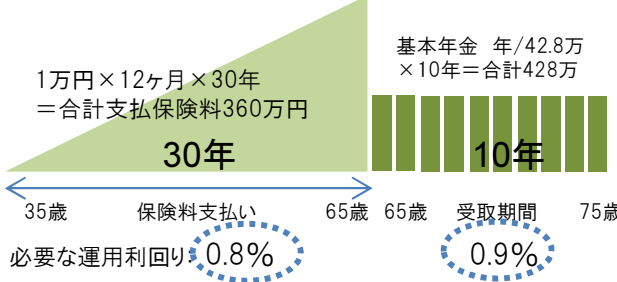
相談窓口	お申し込み	窓口番号	待ち人数	待ち時間(分)
年金相談・申請	-	-	0	0
請求変更手続き	-	-	0	0

保険

個人年金の運用利回り0.8%程度 過大「表示」「表現」に注意が必要

公的年金の補助として活用される個人年金保険。一般的に10年以上かけて保険料を払い込み、60歳以降に10年以上の期間で受け取ることで「個人年金保険料控除」が使える。所得税で最大年4万円、住民税で最大年2.8万の所得控除を作ることが出来る。また長い期間で払い込んだ保険料の総額を年金の総額が上回る表記を「戻り率」と表現される。左図の条件では戻り率は118%と表記される。

■一般的な個人年金の仕組み図



■設定条件(某大手生命保険会社)

加入者35歳女性、65歳払い込み、65歳から10年確定年金
毎月保険料:10,000円 基本年金額:年/428,630円

合計支払保険料が約18%増えて老後に受け取れるので
戻り率118%と表記される。

30年間で払い込んだ保険料が360万円、10年間で受け取る年金の総額は428万となり68万も増えると感じるが、合計45年の運用期間で計算をすると保険会社が運用しなければならぬ利回りはわずか0.8%程度でしかなく、低金利と言われる10年国債利回りに多少色を付けた程度だ。違う視点で考えれば0.8%以上で運用出来れば「自分で運用した方が断然に良い」結果になってしまう。また途中解約には元本割れすることが多く注意が必要。殆どの保険会社のパンフレットが年金支払い期間30年と年金受取期間の10年の期間表現の図が大きく受け取れるような過大表現と感じる。個人向け国債の10年物に投資しているという位で考えておくと良いだろう。

相続

相続税「課税割合」20%程度に

相続税の基礎控除引き下げによる実質の増税が来年から始まるが、相続税を納める家庭、いわゆる「課税割合」は来年以降約20%になる試算がでている。昭和58年からの統計で課税割合が一番高かったのは昭和62年の7.9%で一番低い課税割合は平成23年の4.1%となっている。課税割合が増えることで近年落ち込んでいる相続税による税収増により国の体力アップを図ることを狙っている。子供名義でのNISA非課税など様々な次世代への資産移転も検討されているが、首都圏を中心とした持家化が進み小規模宅地の特例が使えない事に一番大きい影響がある。

家庭で学ぶマネー講座

YouTube にて配信中!



好きな時間にスマホやパソコンで学習!
詳しくはFPリサーチパートナーズのグループプラスを

<https://www.google.com/+Fp-researchJp>

詳しくはwebサイトから

FPリサーチ Google+



- 教材内容
DVD6巻、レジュメ、質問シート
- 授業形態
ホワイトボードとPowerPoint (PC)を使った解説で学びます。

予約受付中
詳細は問い合わせ
下さいませ。

お問い合わせは
☎044-814-3553
✉info@fp-research.jp



■企画・運営/株式会社FPリサーチパートナーズ ※DVD解説内容イメージ

N・ASSET

n-asset.com

不動産の「賃貸」「管理」「売買」の事なら
溝の口駅すぐの株式会社エヌアセットへ

詳しくはwebサイトから

エヌアセット

☎ 044-877-2634

溝の口夜大学
mizo-univ.org

FP三島木のマネーセンスアップ講座 vol.31



税務

ふるさと納税 充実の特典と税還付

地域への貢献と特典を有効に使おう

平成20年に創設された「ふるさと納税」。名前だけは聞いたことがある方は多いかもしれませんが。ふるさと納税は「応援したい自治体」に寄付することが出来ます。寄付した金額から2千円を引いた額が所得税・住民税の所得控除となります。仮に5千円を好きな自治体に寄付した場合は3千円が所得控除の対象となり、所得税率を20%とすれば、所得税・住民税合わせて約30%の税率に入りますので、控除対象の3千円の30%、900円の税還付があります。

また、ほとんどの自治体では5,000円以上の寄付で「お返しの商品」を用意しており、そのお返しが意外と良いものも多く、お返しの品と税還付を考えると「得をしながら寄付」できる制度になってきたと感じます。上の写真は実際に5千円の寄付でのお返し例です。寄付する時には寄付金の使用用途の希望も出せるので「自分が応援したい自治体」

■平成24年は東日本大震災後の為額が大きいです。政府インターネットテレビで内容について詳しく理解できる。特典などの詳細は比較サイトなどもあるが最終的には各自治体のHPでしっかり確認を行おう。



詳細は必ず自治体HPを確認

「●●に使うしてほしい」と明確に想いを届けることができるようにもなっている点も良い所でしょう。ふるさと納税に多い勘違いは自身の出身地でなくして寄付できない、などの間違いが多いのですがそのような制限はなく自ら寄付する自治体を選択できます。ふるさと納税の過去推移をみると平成24年にとっても大きく上昇しています。これは東日本大震災後ということが影響しています。

税額の還付を受けるには確定申告が必要となります。寄付後に自治体から受領書が送られてくるのでそれを添付し確定申告することになります。またふるさと納税で還付される税金は「所得税・住民税」になりますので住宅ローン減税などで既に所得税住民税が還付され納税額が無い場合には節税のメリットはなくなりません。寄付金納付についてはカード払いも出来るので納付についても便利になっています。詳細については必ず各自治体のHPにて確認をしてみると良いでしょう。

おかげさまで8月1日 6周年を迎えます

2009年の開業から5年が経ちました。現在まで様々なサービスを提供しながら仕事を続けてこれたのはサービスを有効活用頂いている皆様のおかげだと感じています。

日本ではまだ馴染みの浅いFP相談への対応を頂いていること、あらためて感謝しております。本年は更なるサービスのレベルアップで皆様へ有益なサービスと共に今までの恩返しをしながら成長を続けてまいります。今後も宜しくお願ひ申し上げます。

平成26年7月29日
株式会社FPリサーチパートナーズ
三島木 英雄

N・ASSET Berry

- ・不動産投資のコンサルティング
- ・事業資金のファイナンスアレンジ
- ・不動産経営のコンサルティング



「人気の東急線エリアの物件取扱多数！」
「購入・売却コンサルティング随時受付中！」

ご要望をお気軽にお問合せ下さい。

不動産コンサルティング技能登録者
CPM有資格者が対応いたします。



お気軽に資料請求下さい

Tel: 044-382-0200



詳しくはwebサイトから

エヌアセットベリー

検索

Click!

株式マーケットウォッチ

market research



2014年7月29日号 第8号

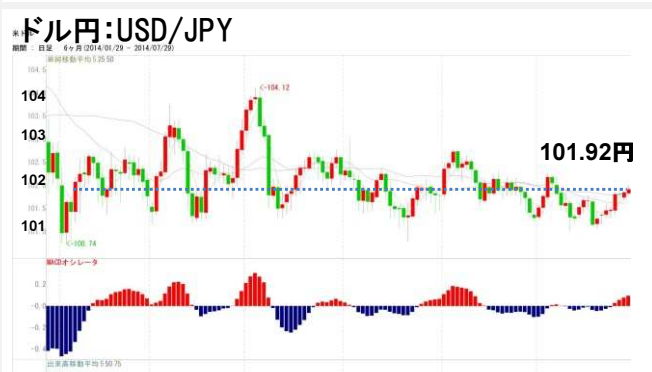
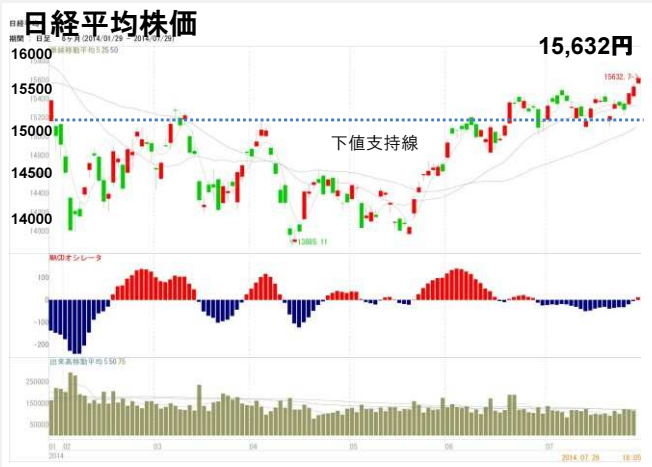
今後1カ月のマーケット予測

7月の相場は終始15,000円台を維持したが方向感が掴めないボックス的な難しい相場だった。ただ月末にかけてドル円は1ドル102円方向の円安を確認し6ヵ月高値をつけている。方向性としては102円台突入で16,000円へのトライを試みる来月となりそう。

為替が102円で跳ね返されない限り、この1ヶ月は強い相場となると感じる。消費者物価も安定していることも後押しとなる。

今後1カ月の日経平均の予想レンジは15,200円〜16,500円とみる。16,320円の昨年高値にトライする場面があるかもしれない。ドル円相場は101円50〜103円50銭程度を想定。

10年国債利回りは0.53%まで低下、REITは低金利を受け高値圏の推移が変わらず。東証REIT指数の分配利回りは2.68%程度まで下落しておりREITは買わずらい。



※株式マーケットウォッチに記載されている内容はFP三島木の個人的な見解であり投資成績の保障をするものではありません。投資におきましてはリスクを十分に理解し自己判断の上行うよう注意してください。

先月配信の振り返り

	予測	結果	精度
日経平均	14,500円 ~16,500円	15,052円 ~15,632円	◎想定レンジ
ドル円	101.00~103.50	101.03~102.26	◎想定レンジ
6月配信	配信時株価	目標株価	結果 7月29日終値 騰落昇率
ドットコム	1,768円	1,850円	1,749円 -1.07%
6月配信	配信時株価	目標株価	結果 7月29日終値 騰落昇率
クレディセゾン	2,060円	2,200円	2,070円 +0.48%

7月の日本株式市場は他国よりも割安感が感じられ比較的堅調に推移した。為替は102円のラインを終始意識され中旬までは円高方向で株価も不振であった。ただ15,000円を守ったこともあり月末に向けて円安方向に振れ始め、株式市場も上昇に転じている。雇用・消費も安定していることも後押ししていた。相場が不安定な前提で個別銘柄にあげた内需株2社は共に軟調な株価推移であった。

注目銘柄 7月29日終値

	注目銘柄1	注目銘柄2
銘柄名	サンリオ	ガンホー
市場	東証1部	東証1部
株式コード	8136	3765
現在株価	2,970円	605円
目標株価	3,490円	700円

今月は日経平均も比較的良好に推移する可能性が高く安全にいくならばTOPIX等のETFが無難な選択かもしれない。サンリオは長引く株価低迷も海外でのキャラクター売上や国内での新キャラクターの活躍が期待できる。株価も高値から半値になつており割安感と貸借も良好。ガンホーは好業績だが株価トレンドが冴えない。ただ信用買残が整理されれば徐々に復調へ。